

313系4次車

ワンマンドア扱いの変更で

運転士の疲労増大！

日々の業務に奮闘されている全社員の皆さんご苦労様です！

この8月より、313系ワンマン列車（4次車）が導入され、先行して中央線で営業運転が開始されています。運転を受け持つ中津川運輸区では、営業運転が開始される前の8月早々、現車訓練が行われましたが運転士からは「何故、わざわざ運転台にあるスイッチを取っ払ってしまうのか。」「あらたな連鎖扱い、基本動作では定時運転ができない。」「運転台の中を歩き回することは危険だ。」「他線区のドア扱い事故の対策の押しつけだ。」等々、多くの問題点や不満が出されました。しかし、あらかじめ営業運転ありきでスケジュールは進められ多くの問題を残したまま現在に至っています。

中央線では中津川～塩尻21駅中、最多で13駅（副本線含む）も助手側でドア扱い！

「もうヘトヘト、4次車には乗りたくない！！」が偽らざる気持ちだ！

中央線でその道筋をつけ、すんなりと関西線へ波及！？

この間、ATS-Pの導入をはじめ現場の実態とかけ離れたところで様々な施策が決定をされ、一方的に強行実施をされてきています。そして、些細なミスでも全て個人の責任にし、対策ならざる対策がさらにのし掛かってきています。

地本は直ちに「313系ワンマン列車（4次車）におけるドア扱いについて」申4号を申し入れ、問題解決に向け取り組みを進めます。

他労組の皆さん！共に声を上げ、共に闘おうではありませんか！